

## ◇ コンセッション導入可能性調査について

- ◆ 大分空港は、本県唯一の空の玄関口であり、**地方創生を加速させるためにも重要な拠点**。
- ◆ 大分空港や周辺地域の更なる活性化を図る観点から、民間の資金やノウハウを最大限活用することができる「コンセッション方式」の導入可能性について、令和2年4月に国へ調査を依頼。

### 大分空港における資産調査

空港施設等の資産や財務状況等について調査を行った上で、コンセッション導入に向けた課題等の整理、将来の空港施設・空港ビル・駐車場事業の一体化収支の分析を行うとともに、民間ヒアリングを実施し、コンセッションの導入可能性を調査するもの。

### 全体スケジュール

令和2年4月

国に調査を依頼

令和2年8月

国が調査を開始

令和3年8～10月

国が民間ヒアリングを実施

令和4年1月

国から最終報告を受領

# ◇ コンセッション導入可能性調査について

- ◆ 民間ヒアリングにおいては、大分県のポテンシャル等が高く評価され、コンセッション事業への参画についても関心が高いとする回答が多くあった。
- ◆ 一方で、新型コロナウイルス感染症の影響等により、事業の将来性等を懸念する回答もあったことから、以下の①～③については、今後、国が引き続き検討を実施。

## 要整理事項

### ① 一体化収支予測※の検討

- ・パンデミックや災害等のリスクも踏まえて一体化収支予測の検討を行い、独立採算型のみならず、国が運営費用の一部を負担する混合型の事業スキームも含め、更なる検討が必要。

※一体化収支予測…運営主体が異なる3事業（空港施設、空港ビル、駐車場）を一体的に経営した場合の収支予測

### ② リスク分担の取り扱い

- ・コロナ禍のような極端な需要変動リスクについて、国・運営権者で適切に分担するスキームが必要。

### ③ 宇宙港の取り扱い

- ・宇宙港構想については、新たな空港利用者の増加や地域活性化等、空港運営事業との相乗効果が期待されるとの回答がある一方、空港運営事業に与える影響を判断するためには十分な情報提供が必要との回答もあった。これを踏まえ、今後、宇宙港としての運用が空港運営に与える影響について整理することが必要。

上記①～③について整理できればコンセッション事業が成立する可能性が十分あると考えられるため、県としても、引き続き検討を行う。